極端の個人主義者

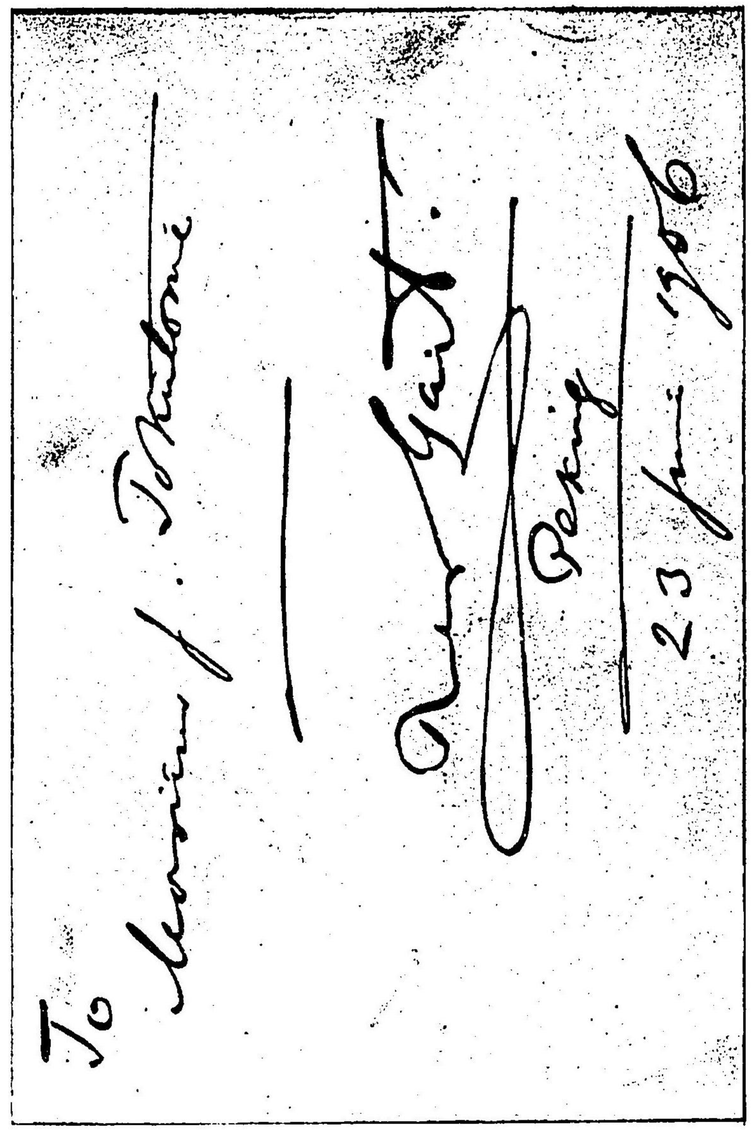
彼等の理想の政治

善からさる謀反には、滅多に加入せす。併し政府には、殆んと爪の垢程の依頼心無之候。彼等は極端の個人主義者に候。

日出而作。日入而息。鑿井而飲。耕田而食。帝力于我何有哉。

の歌は、堯時の老人の心意氣のみならす、今日に及ふ殆んと總ての支那人の心意氣に候。彼等は何よりも干渉か嫌ひに候。彼等の理想の政治は、一切放任、識らす、知らす、帝の則に順ふの一事に候。

清國總稅務司
サ！ロバ！ト！ハ！ト肖像




周公旦の干渉政治

商君と王安石との政策

極端なる干渉嫌ひ

支那にても、隨分干渉政治を行ふたる者有之候。周公旦の如きは、網目細工を以て、人民を籠蓋致し候。周官制度は、何から何迄手か届きて、今日の井上伯をして、其局に、當らしめても、此程とは思はれ不申候。又た商君の如きは、所謂る法治國の制を立てゝ、帝國主義の基礎を作り候。降りて王安石の如きも、國家社會政策を實行致し候。而して何れも好首尾とは、申されす候。周公の政も、一部の邦幾千里(支那六町一里の千里た

畢竟支那人の干渉嫌ひに依る也

夷狄は治めさるを以て之を治む可し

るとを記憶せよ)に、試驗的に施行したるに過きす候。それも周の積弱にて、乍ち空文に歸したるなる可く候。商君は其身車裂せられ候。王安石は、非常なる反對論の爲めに、遂に引退致し候。此れは必らすしも其の政策の如何によるもののみとは、速斷致し兼候得共。支那人は、由來干渉を好ます候。彼等は紀律の下に立つとを、最も苦痛と感する者に候。清潔なる干渉家よりも、貪慾なる放任家を、驩迎致し候。支那人の說に、夷狄は、治めさるを以て、之を治む可しと申候。此れは支那人彼自身に、最も應用せらる可き警句と存候。

異例なる南方の學者の二三

生活せんか爲めに生活す

死後の冥福に非すして生前の陽利

## 支那に誂向きの道教

支那人は、物質的の分子最も多く候。南方の學者には、屈原や、莊周や、隨分想像力や、理想やに富みたる者有之候得共、要するに哲學とか、宗教とか申す小面倒の事は、支那人には、向き不申候。支那人は、生活せんか爲めに、生活する的の人種にして、それのみに浮身を窶し候。されは支那に道教の流行するも、決して異しむに足らす候。何となれは支那人の關心する所は、死後の冥福にあらすして、生前の陽利にあれは也。而して

長生不死

老子の本旨なるや否やは、暫らく別問題として。道教は、人を長生不死ならしむる所以なれは、支那人には、誂向きの宗教＝若し斯く名くるを得は＝と可申候。彼等は實に現金主義に候。其の宗教さへも、其の通りに候。道教の繁昌、偶然にあらす候。

宗教的迫害なるもの絶無也

一切平等の宗教界

彼等は宗教上、別段の確信もなく、將た熱心もなけれは、迫害抔と申すとのある可き理由もなく候。支那の歴史には、種々なる慘劇の續出するに拘らす、殆んと

一切の宗教皆な平等の待遇を享く

宗教的迫害なるものは、絶無に候。是れ支那人か宗教に對して、寛大なりと云はんよりは、寧ろ其の無頓著なるか爲めと可申歟。支那に於ける宗教の情態は、恰も羅馬帝國の初期に於けるか如く、一切の宗教皆な平等の待遇を享け候。支那には、儒教、佛教、道教、回々教、及ひ基督教、其他牛鬼蛇神、種々雜多の宗教らしきもの、何れも相接觸して、何等の衝突なく、平和を保ち居り候、此れは支那の歴史の、一大特色と申すも、溢言にあらさる可く候。

基督教に對する支那人民の態度

斯る情態に關せず、單り近來の基督教に對してのみ、動もすれは反抗を來たし。或は宣教師殺害や、會堂燒拂の事件、出來するは、不思議千萬に候はすや。然も若し一皮剝ひて觀察すれは、是れ決して不思議にあらす。

畢竟宣教師の罪也

畢竟宣教師の方より、喧嘩を押し賣りするか爲めのみ。元來宗教に無頓著なる支那人、喧嘩嫌ひの支那人をして、此程迄に怒らしむるは、決して尋常の事にあらさる可く候。記者は今茲に宣教師の彈劾文を草するにあらす候得共。宣教師殺害や、會堂燒拂や、事實其物か、直ちに宣教師彈劾の一大鐵案たるとを、信するものに候。宣教師の總てと申さゝるも、其の多くの中の或者等は、實に基督教の罪人に候。罪人たるの言行を逞ふしつゝあり候。

基督教の罪人は誰そや

寫實以上に出てす

昔は邵康節は、司馬君實を評して、君實は脚實地を蹈むの人なりと申候。此れは司馬君實のみならす、支那人は、概して脚實地を蹈むの人に候。彼等の文學も、藝

脚實地を蹈むの人

術も、脚實地を蹈む的の物に候。雄大なる杜甫の如きも、駝鳥以上には、高飛する能はす候。李白の如きは、高調雲に入るの詩人と申せとも、それさへ多くは寫實を離るゝ能はす候。吾人は支那の風景に對して、支那畫の實に寫實たるとに嘆服致し候。長江の沿岸に於ては、柳陰に牧童の水牛に乘して憩ふやら、漁夫か葦間より四ッ手網を下すやら、丸るて宋元名手の畫幅に接するの心地致し候。而して彼等の佛像の如きは、概して關羽か佛化したるものと申す可きに似たり。

支那畫は寫實也

關羽的の佛像

支那人の詩程當てになるものなし

言葉と實際の調和

## 文學と藝術

支那人の文は、浮華にして實少しと申し候得共、そは餘りに獨斷的の評と存候。先つ凡そ詩として、支那人の詩程、當てになるものは、無之候。其の風土を詠し、氣候を語り、山川、艸木、禽鳥、魚介、人情、風俗に及ふ。一として當てにならぬものは無之候。勿論明人の模倣派の詩抔には、隨分言葉の爲めに、事實を犧牲にしたるの痕あれとも。概して言へは、彼等は言葉と實際との調和には、餘程骨折りたるものと可申候。但た彼等か動

彼等の言葉は餘りに概括的なり

長所と短所を見よ

もすれは、時間空間の觀念、精確を缺き、且つ事物の釣合、權衡の觀念、其の宜しきを得す。加ふるに彼等の言葉の餘りに概括的なる、爲めに語りて精しからす、詳かならさる病は有之候得共。要するに彼等の文學的良心は、必らすしも麻痺し居るものとは、申され間敷候。白樂天の如きは、其詩は詩と云はんよりも、新聞の三面雜報に候。支那の文學、藝術の長所も、固より此に存す可く、而して其の短所も、實に此に在りと可申候。但た斯く寫實的なる文學や、藝術も、彼等の所謂る形式病に感染し、此れか爲めには、折角の寫實も、めちやめちやに相成申候。

彼等は俗物に候

趣味の幼稚と野鄙

物質主義の生活

## 趣味の幼稚と野鄙

彼等は俗物に候、彼等の中に、如何に脫俗と申し候も、程度問題に候。伯夷、叔齊とても、錢の勘定を知らぬ者はなかる可く候。彼等の風雅心の少きは、外國人の不思議と思ふ程に候。其の趣味の幼稚にして、且つ野鄙なるは、其の家屋を見ても、庭園を見ても、將た彼等の生活の總てのものを見ても、分明に候。別言すれは、彼等は、物質主義を、其の生活の一切に及ほし居り候。彼等

岩谷松平式の裝飾

の中には、乃ち天然の美を愛する者、甚た多からす候。刎んや此れと同化するか如きは、到底望む可らす候。彼等の門柱、扉、壁は、廣告塔の如く、商店の暖簾の如く、看板の如し。室内の裝飾に至る迄も、悉く岩谷松平式と申すを以て、適當と存し候。堂々たる大官人、若しくは親王家か此通りに候。

空論的の人民

## 假我と眞我

斯く實地的の人民にして、又た此の如き空論的の人民は無之候。空論は、空想にあらす。空想とは、行はれぬ事を、行ひ得可しと信して論するものに候。空論とは、行はるゝと行はれぬとに頓著なく、否な寧ろ其の行はれぬを知り、其の行ふ能はさるを期して、矢鱈滅法に論するものに候。

言行不一致の標本

言行一致とは、到底凡俗の人には、六ヶ敷事に候得共、支那人に於ては、言と行とは、丸るて氷炭相容れさる慣習に候。彼等には兩樣の世界あり。其一は、形式の世界にして、彼等の假我は、此中に住し候。其二は、實地の世界にして、彼等の眞我は、又た此中に住し候。而して假我と眞我との間には、何等の關係もなく、何等の連

兩樣の世界あり

一人即ち兩人に候

墮落僧の如し

絡もなく、一人即ち兩人に候。而して彼等は此を以て僞善とも思はす候。罪惡とも感せす候。僞善とは、多少の自覺を意味し候。自分は惡しき事と、承知しつゝ、之れを人前に善き事として行ふの自覺を意味し候。然るに形式の重圍に死生する彼等には、毛頭其の自覺か無之候。彼等は宛も墮落僧か、法衣を著け、佛壇に向ては、殊勝に念佛し。扨て其の法衣を脫すれは、乍ち修羅道の人間に化するか如く。形式の上には、孔言、堯語、禹步、舜趨、洵に立派の樣なれとも、其の眞我を發露するに至りては、利得一遍の俗物に外ならす候。

感心す可き呑氣、無頓着、無遠慮

受身乃ち强身

## 受身の强身

支那人にも、感心するとありやとの、一問に對しては、然り、有り、大いにあり、澤山ありと可申候。其中にて、別して感心するは、支那人の呑氣に候、無頓著に候、無遠慮に候。彼等とても喜怒哀樂の感なき筈は、無之候得共。其の萬事に、悠々不迫、平氣の平左衞門なるには、腹の立程、感心致し候。受身は乃ち彼等の强身に候。彼等は何事も、自から働らき掛けすして、自然の成行を待候。日本人は、栗の刺殼を剝かねは、安心不致候。支那人

消極的時間の使用

無意識なるか故に更らに有効也

は、自から發けて、栗實かころけ落つるを、拾ふ者に候。

時間を無視して、時間を利用す

國際談判抔にても、將た商賣の掛引にても、相手を困殺せしめ、懶殺せしむるは、此の呑氣の一事に候。即ち彼等は消極的に、時間を使用致し候。彼等か時間の觀念なきは、彼等か時間を味方とする所以に候。彼等か時間を無視するは、時間を利用する所以に候。而して是れ概して、彼等の無意識より出るか爲めに、更らに有効に候、有力に候。彼等の目には、金錢は萬事にして、

先天的に利用す

辭令に巧みも也

時間は一事にたもなし。其の時間を、算盤の外に措くの結果は、時を有價物件として、取り扱ふとを知らされ彼等は時を有價物件として自然に其の働らきを爲さしめ候。とも、市價なき物件として、之を利用するの道を、殆んと先天的に解し候。彼等か呑氣なるか故に慳巧なる獨逸人さへも、彼等には往々氣根負けすると有之候。

外交的辭令

且又た彼等に感心なるは、辭令に巧みなるとに候。彼等には如何なる無躾なる事も、上品なる言葉にて、言

君子自重

ひ現はし得さると無之候。小便無用と書く所を、君子自重と書き候。無用之者不可入と書く所を、閑人免進と書き候。金鷄報曉湯先熱。紅日未昇客滿堂。此れか湯屋の看板とは、何人も思ひ及はさる可く候。即ち支那人は、天然の外交的辭令を有し候。彼等は御身の首を申受けたしと云ふ言さへも、對手か驚かすして、聽納する程の技倆を有し候。何人も左氏傳を讀んで、春秋時代の人の、辭令の妙に驚喫致候得共。君それ之を水濱に問へ的の文句は、支那に於ては、上海に於ける、吳服屋の番頭ても使用致し候。

思ひ及はぬ湯屋の看板

天然の外交的辭令

決して羞澁せす

其場限りの應接の技倆

## 應接間の英雄

辭令に巧みなると同時に、支那人は、如何なる場合にも、何人に對しても、決して羞澁するとなし。彼等か態度の閑雅にして、且つ應揚に。自から相當の地歩を占めて、對手をそらさぬ手際は、とても我か日本人の企て及ふ所にあらす。彼等は果して適當なる場合に、適當なる言を吐くや、そは保證の限りにあらす候得共。兎も角も其場をやりてのける技倆は、概して彼等の長技と云はねはならす候。されは若し其の應接振り

看板倒れの氣味

のみを以て、其の人物をトせは、時としては大いなる買被りを來たすとなきにあらす候。彼等の多くは、只た應接間の英雄に止まり。實地には看板倒れの氣味も、此れあるに似たりと承り候。

支那人の蕃殖力

## 偉大なる蕃殖力

支那人の蕃殖力は、統計的には、精確なる事相分り不申候得共。其の偉大なると、實に不思議と云ふも、愚かに候。彼等は一度の饑饉毎に、幾千萬の人を死せしめ候。一度の内亂毎に、幾千萬の人を殺し候。流行病や、水災や、盜賊や、隨時隨處に、人口增加の制限力は、其の威光を振り廻し候。併しなから如何なる出來事も、彼等の蕃殖力に打克つ能はさるのみならす、競爭するとさへ六ヶ敷候。近くは長髮賊の亂抔は、人を殺すと豚を殺すか如くなりしも、今や人口の上には、其の痕跡たも留めす候。

彼等の蕃殖力に打克つものなし

廉價の人力と人命

## 廉價なる人力と人命

支那程、人力の、故に人命の廉價なる所は、此れなかる可く候。人の靈魂か、全世界よりも重しとの、金言の如

物件と人命の交換は平氣也

廉價なる人命の値

きは、とても支那人には、解し得らるゝ筈は無之候。何となれは彼等は何時にても物件と、人命とを交換するを辭せされは也。彼等か人命を廉價に取り扱ふは、彼等か世界に於ける恐る可き勢力たる所以の一に候。日本人は人命を大切にして、然もそれにも拘はらす、死を畏れす。支那人は、人命を廉價にしつゝ、然も個人としては、死を畏れ候。されとも廉價にするの結果は、時としては死を畏れさると、殆んと同一の効果を呈し候。廉價なるか故に、他の耐ゆる能はさる、辛抱する能はさる境遇に處して、泰然たり。故に世界に於ける勢力の一たり。日本人は、男らしきか故に、恥を知るか故に、有力也。支那人は、男らしからさるか故に、恥を知らさるか故に、如何なる賤業ても、勞作ても、辭せさるか故に有力也。南阿の金礦も、支那人を輸入するの已むを得さるに出てたるにあらすや。如何に自由黨政府か、小刀細工をしても、支那人を排斥し去るとは難かる可く候。



日本人と支那人との有力なる理由の相違

時てこなし、數てこなす

支那人の一個人としての働きは、寧ろ甚た少なる可

時間の觀念なし

一人分を數人にてなす

恐ろしき人間

し。されとそは問題にあらす。支那人は、時間の觀念なきか故に、時間てこなす也。他人か一時間てなす所を、平氣て二時てなす也。支那人は、人數の多きか故に、數てこなす也。他人か一人てなす所を、二人乃至三人四人にてなす也。故に其の個人的有効力の多寡は、勘定に加ふ可らす。世に時間の大切なるとを知らぬ人間より恐ろしきはなく、又た骨を惜しまぬ人間より恐ろしきはなし。而して骨を惜しまぬ結果は、生命を惜しまぬと、殆んと同一の効力を生するものに候。而して此の數てこなすと申すとは、必竟人口の蕃殖力の、偉大なるか爲めに出來るものに候はすや。

有力なる或物とは何そ乎

唯た苦力あるが爲めのみ

## 苦力大明神

支那をして、侮られなからも、尚ほ世界の或物として、數へらるゝを得せしむるは。其の孔子樣ありしか爲めにあらす、李鴻章ありしか爲めにあらす。八かましき御婆さん(西太后)あるか爲めならす、袁世凱あるか爲めにあらす。空論の留學生あるか爲めにあらす、金持あるか爲めにあらす、學者あるか爲めにあらす。實は苦力(クーリー)ある爲めに候。彼の樹下に肱を曲け、石上に脚

苦力て持てる支那

是れ苦力大明神たる所以

を伸はし。人か獸かの區別さへ判然せさるか如き、苦力の生々更らに生々なるは、支那をして、恒に世界の問題たらしめ、世界の注意たらしめ、時としては便利たらしめ、時としては厄介たらしめ、更らに時としては恐怖たらしむる所に候。一人の李鴻章なき可也、若し苦力なからしめは、支那は零點に候。苦力か、世界列强か文明病に痲痺せられんとするに際して、其の動物的精力を、世界の各所に於て、發揮しつゝあるは、支那に取りては、百萬の大軍よりも、有力に候。要するに支那の眞價は、苦力に存し候。而して其の人種的生命も、國民的元氣も、苦力に存し候。苦力は支那の恩人に候。救世主に候。即ち苦力大明神に候。

阿片と博奕と肉慾

## 支那人の好物

支那人の好物は、先つ阿片と、博奕と、肉慾となる可し。博奕は。孔孟時代より、盛んに流行したるものと見へ、論語にも、孟子にも、其事に就て云爲有之候。而して此の流行は、上中下を通しての事にして。其の熱心なるは、孰れとも申し難かる可く候。彼等は白晝公然、恥かしけもなく、博奕致し候。支那の新聞社を訪問したる

長る可き好物

に、記者先生か、午後三時頃迄も、阿片を喫して、編輯局裡に、横臥したるを見候。阿片亡國論抔は、今日となりては、とても追附き申さす候。阿片と博奕とは、文弱なる支那人を、益々文弱ならしめ。腐敗せる支那人を、益々腐敗せしめ候。肉慾の如きも、申すも野暮に候。

天上天下才取主義

## 受負と手數料

支那にては、個人と個人との關係も、個人と團體、若しくは國家との關係も。乃ち一切の關係、悉く才取主義（コンミッション）にて繋かり申候。此の根本主義を捉へ得さる者は、到



租稅の如き尙ほ且つ然り

底支那の社會を解釋する能はさる可く候。小僧ても、下婢ても、輿丁ても、使价ても、番頭ても、役人ても、凡そ支那に於て、生とし生ける者、悉く手數料を取らさるものなし。彼等は罪惡として取らす、取る可き物として、之を取り候。乃ち租稅の如きも、知縣の受負にて、知縣より總督迄、幾多の順序を經、其の一階毎に、手數料を取らるゝ故に。人民の懷より出す物と、中央政府に納まる物とは、非常の懸隔あるは、勿論に候。總督の如きも、要するに中央政府の買辨（コンプラドル）に外ならす候、

社會成立の根本的改革

受負ふ故に手數料を取る

## 立憲政治と受負主義

斯くオ取主義は、社會人事の隅から隅より、其の奥底迄、行き亘りつゝあるか故に。如何に政治上に於て、受負社會主義を改め、オ取主義を改めんとするも。成立の根本より改むるにあらされは、其の成功如何あるべき乎、聊か覺束なく感し候。受負主義と申すも、オ取主義と申すも、表裏より觀察したる迄にして、其實は同一主義に候。受負ふ故に手數料を取る。手數料を取る者と豫定し、豫定せらるゝか故に、受負となる次第



立憲政治と受負政治は兩立せず

に候。萬事此の通りなるに、政治上のみ、此を改革せんとするは、餘りに蟲の好き話にあらすや。立憲政治も、さる事なから、立憲政治は、受負政治とは、兩立致し難く候。如何に受負を廢止するも、オ取主義の流行する間は、先以てだめに候。故に若し支那に申譯けはかりにても、立憲政治を行はんと欲せは、代議制度と、オ取主義との調和を、圖るか何よりの急務たる可く候。

接近せる清英の距離

彼等は不思議に酷肖致し候

支那人と日本人とは、同文同種と申し候得共、其の一皮を剝ひて、觀察すれは。日清の距離よりも、清英の距離は、寧ろ接近致し居り候、甚た接近致し居り候。斯く申せは、英人も爾奚んそ我を支那人に比すると立腹し、支那人も同様不滿に感す可く候得共、平易なる眞理、此の通りに候。彼等は不思議に酷肖致し候。即ち双方共に、其の個人主義の實行者たる點に於て、酷肖致し候。其の實利主義なる點に於て、酷肖致し候。其の虚禮を大切にし、儀式を重んする點に於て、酷肖致し候。彼等は不器用にして、重くるしき趣味を有する點に於て、酷肖致し候。若し細工物か、細工人を證明するものとせは、英國の日用品と、支那の日用品との、其の手擣きと、頑丈なる擲ても、叩ても損はれぬ點に於て一致するも、爭ひ難き的例に候はすや。

類似せる諸點

## 英人と支那人　（二）

彼等は其の家族的なる點、物質的なる點、重厚なる點、言論討議を好む點、大仕掛けなる點、何事も、何處迄も、個人を本位とする點、其の民主的なる點、其の干渉を好まぬ點に於て、其の頗る類似を見候。併し英人は人

英人は其の以上の或物あり

類似の中にも相違あり

國自慢

みしりの人種にして、支那人は人に狎れ候。英人は愛嬌少く、支那人は世辭に巧みに候。均しく拜金的なれとも、支那人は、それのみにして、英人は其の以上の或物あり。均く物質的なれとも、宗教は英人には、生命に次ての大切のもの也。否な生命の要件とも可申歟。英人も支那人も、實利主義なれとも、又た臨機應變者なれとも。英人には、一種の牢として拔く可らさる正義の觀念あり。英人も生活を樂み、支那人も生活を樂しむ。英人も大食し、美食し、支那人も同樣に候。英人の國自慢の如く、支那人も國自慢に候。英人か他國及ひ他國人を馬鹿にする如く、支那人も斯く馬鹿に致し候。英人の英國觀は、支那人の中國觀に候。其の自惚の程度は、幾分の差違ある可きも、自惚には相違無之候。

兩國共に徵兵を行はす

## 英人と支那人　(三)

支那人も出稼し、英人も出稼す。併し英人は殖民すれとも、支那人は殖民せす。均しく平和的人種にして、均く店持人種にして、徵兵を行はす。否な今日の國情にては、兩國共に行ふ能はされとも。英人は決して文弱ならす、彼等は活動す、野外の運動は、彼等の生命也。然

英人は野外的支那人は室内的なり

清、英本領の相異

も支那人は、其の趣好に於て、何處迄も室内人種也。議論好なるとは、双方同樣なれとも、支那人の方は、議論の爲めの議論に過きす。支那人は、放任の味を解すれとも、英人は自由の味を解す。支那人は個人の利益を重んし、英人は併せて權利を重んす。個人の權利は、英人の一毛たも毀損するを欲せさる所に候。支那人の本領は、斷念にあれとも、英人の本領は、追求にあり。併し英人の追求も、或は其の鋒鋩鈍れて、安著となるなからんとを恐る。



眞實は英人に多し

兩國民の懸隔せる政治能力

## 英人と支那人（四）

英人は平ら推しに推し透すも、支那人は曲りなから推し透す。他人の眼中に於て、英人の僞君子なるか如く、支那人も僞君子也。併し眞實は多く英人に見出たす。英國に於ては、法廷は神聖也。英人は最後の保護を、法廷に於てし。支那人は、賄賂に於てす。政治的能力に至りては、英人の靴の紐さへも。支那人は解くの價値なし。齊一變せは魯に至らむ、英人一變して、支那人となる乎。支那人一變して、英人となる乎。吾人の豫言す

る所にあらす。且つ國家的組織と、公共的德義とに於ては、支那人は、今日の所、到底英人に企て及ふ可きにあらさるも。彼等は見掛け程には、隔絶したる者に無之候。兄弟たらさるも、少くとも從兄弟たる丈の類似は、此れあるものゝ如く思はれ候。

支那人に對する最後の斷案

## 世界に於ける大勢力

支那人の長短與に、公平に乘除し來れは、其の最後の斷案は、支那は、國家として、微弱なれとも、人種として、有力なりと申すの外、なかる可く候。申さゝるを得さる可く候。記者か茲に國民としてのと、申さゝるは、國民の二字は、政治的要素を、含蓄するか故に、態と避けたる次第に候。廣き世界を見渡すに、未た支那人の如く、自恃の精神の、强盛なるもの無之候。此れも惡政府累代の產物とは申せ、所謂る惡原因より、善結果を、贏ち得たるものと、申すを適當と存し候。何事も他力に依賴せす、自力にて、世を渡るの精神に至りては、堂々たる日本男兒も、支那の一苦力に若かさるの看を免かれす候。斯る基礎の上に、蕃殖したる、支那人種なれは。其の人種か、世界の一大勢力たり、或る意義に於て

自恃の精神の强盛

自力にて世を渡るの精神

支那人の人種的一大勢力

支那人の勢力は國家の勢力の消長と關係なし

は、一大恐怖たるは、毫も清國の存亡に關せす候。假りに政的地圖の上に、支那帝國なるものか、全然消失したりとするも。支那人種の有力なるは、依然たるものに候。或は却てより有力なるやも、未た知る可らす候。支那人を、單に政治上の見地より觀察して、併せて其の人種的勢力を、無視するか如きは、飛んてもなき間違に候。

政治的の支那

政治的將來は如何

然らは支那帝國の、政治的將來は如何。斯る豫言的難題には、寧ろ喙を容れさるを、安全と存し候。左はさりなから、記者は必らすしも政治的絶望者にあらす候。今後に於ては、支那の分割は、既に過去の夢に歸し候。從來支那は、地理上の關係よりして、長へに分裂を許さす候處。今や鐵道の世の中と相成、愈よ其の統一を、餘儀なくせしめ候。固より今日の所、列强の兵力に對して、支那か自から防禦するの力を有せす候得共、如何に弱肉强食の世の中なれはとて、無理無體に、他國に攻め入りて、之を併呑するか如きは、當今の時勢、斷して之を容さす。而して單に之を容さゝるのみなら

分割は過去の夢也

自から防禦するの力なし

當今の時勢は併呑を容さす

列強競爭の爲めに領土の安全を得

禍亂は內より生す

す、若し斯る場合とならは、一の支那分割の爲めに、世界的大戰爭を、挑發するの虞有之、旁以て斯る事は、期待す可き範圍より遠さかり申候如く、思はれ候。要するに列强各互の支那に於ける、利益の競爭は、期せすして、支那の領土を、保全し、其の獨立を、支持せしむるの結果と相成候。併し若し支那人か、其の排外的亂調に乘するの曉には、現狀一變は、已む可らさる事に候。故に若し支那に於て、其の禍亂の生するあらは、是れ內より生するものにして、決して外より來るものに無之候。而して此の內禍の生するを、跂望して、自個の

野心的君主とは誰そ乎

清國の立憲政治

野心を逞ふせんとするの、野心的君主、若しくは國民の存せさるや否やは、吾人の知る所にあらす候。

## 清國の政治的謎題

清國の立憲政治に就ては、吾人は多大の希望を屬せす、さりとて全く一笑に附するともせす。如何なる人種とても、既に人間に共通性あるを知らは、其の長短得失は、暫らく之を措き。或る程度迄、一の人種の成功したる者を、他の人種か成功するは、殆んと疑を容るるの餘地なく候。而して今日の所、立憲政治は、清國の

政治的謎題を解決するの道

政治的謎題を、解決するの、最善の方法たるや否やは、知る可らす候得共、少くとも一の方法、或は行はれ得可き一の方法たるに似たり。但た若し清國をして、再生復活せしむるものあらは、新政の建立よりも、新教育の普及なる可く候。吾人は寧ろ多くの希望を、此の一事に集注致し候。而して若し新教育の効能なしとせは、新政體の効能は、勿論期す可らす候。支那人必らすしも政的能力を有せさるにあらす。戰國の末に於ける、秦國の勃興の如きは、其の立法者か、人民に向て、政治的訓錬を施したる効果に外ならす候。商君の如

新教育の普及

支那の三大立法者



きは、實に周公、管仲と與に、記臆す可き、支那の三大立法者に候。

多少の等差あり

## 清國の軍隊

支那人は、文弱と申せとも、其中にも、多少の等差なき能はす候。例せは前に擧けたる秦國の民の如き、此れと對峙したる楚人の如きは、武勇を以て、戰國に鳴り候。戰國七雄と申せとも、其實は二雄に過き申さす候。秦民は、協同的勇氣を有し、楚人は、一騎打の勇氣を有し候。楚を滅したるは、秦なれとも。當時楚三戸たりと

楚秦兩國武勇の相違の點

項羽對漢高論

吳楚七國の亂

湘軍

雖も、秦を滅す者は、必らす楚ならんと申したる通り。項羽は楚人を率ひて、秦の天下を覆し候。而して漢高は巴蜀に起り、關中を定め、又た秦兵を率ひて、楚の項羽を滅し候。而して漢興て以來、須臾にして、吳楚七國の亂あり。是れ楚人の活氣、未た全く灰燼とならさりし證據に候。概論すれは戰國より漢初にかけての舞臺は、秦楚兩民の相持ちに候。乃ち今日と雖も、楚人の末葉たる湘軍は、曾國藩の統率の下に、長髮賊亂の戡定の首勳を占め候。故に訓鍊如何によりては、清國兵か、歐洲の或る軍隊に比して、決して遜色なきは、吾人軍事專門家にあらさる者と雖も、之を斷言するに憚からす候。

訓練如何にあり

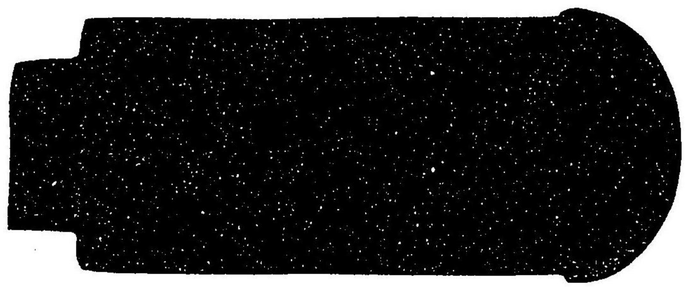
支那の進歩上の一大障碍

## 清國の一大解脫

清國の前途は、何人も之を語る、然も何れも架空の談のみ。既に然らは寧ろ語らさるに若かす候。但た何れにしても、支那か其の成熟し、且つ餘りに成熟したる固有の文明を有するは、支那の進歩に取りて、大なる障碍たるの一事に候。されは支那にして、一大解脫を做さゝる限りは、其の舊邦を新らたならしむる能は

さる可く候。而して此の一大解脱は、尋常の教育法を以て、之を遂け得可き乎。或は鐵と火との一大猛烈作用を、要す可き乎。或は何れをも須ひず、此儘にて往生を待つ可き乎。此れは實に興味饒き問題に候得共、所謂る寧ろ語らざるに若かずの範圍に、端なく落ち入り申候。

文字陽文　葉峰齋造



唐景雲二年（）元明天皇和銅四年（黄銅佛像　實物大

日露戦役の終了と日英同盟の改訂

大謬見

# 結論一則

始か則ち終り也、終りか則ち始め也。三十七八年役の終るや、皆惟らく極東の泰平は、保障せられたり。而して日英同盟の改訂せらるゝや、皆惟らく保障せられたる泰平は、更らに一層の安全を加へたり。是れよりは我か官民は、全力を、平和的經營に傾けさる可らすと。吾人も同感也、同意也、故に固より異辭なき也。

されと若し極東の大局は、既に全く定まりたりとせは、是れ大なる謬見のみ。泰平は則ち泰平なれとも、局

韓國

半上落下の關係は不可也

今一歩を進む可し

面は今尚ほ驚波駭浪の中に在り。試に思へ韓國は如何、滿洲は如何、清國は如何。

吾人は韓國か、我か保護國として、既に業に安全の位置にありと思へり。果して然る乎、否乎。若し事實の眞相を察する識者あらは、韓國の事未た定らすと斷言するを、遲疑せさる可し。今日の如き半上落下の關係は、徒らに他日の禍機を養ふに過きす。吾人は到底今一歩を進みて、韓國に蒞むの必要を感す。是れ單に日本の爲めのみならす、小にしては韓國人民の爲めに、大にしては極東平和の爲めに、斯く斷言す。



滿洲問題

唯た紙上に於ける解決のみ

清國の前途は如何

滿洲の如きは、今尚ほ馬賊の仁惠の下に、聊か小康を保つに過きす。眞成に安全なる滿洲たらしむるには、尚ほ幾多の歲月を要す。而して其の鐵道經營に附隨して、我か施設す可き經營は、未た一も其緒に著かす。今日に於て滿洲問題の解決は、紙上に於ける解決のみ。實際に於ては、戰前と大差なし。但た南滿洲に於て、露人と日本人と交代したるの外、何等の變動なし。實際の解決は、今日以後に開始せらる可き也。

若し夫れ清國の前途は、實に雲を攫むか如し。記者か旅行中に目擊したる事實にして、大過なからしめは、

清國の即今は、醗酵期に屬す。清國に於ては、到底現狀を維持す可らす。既に維持す可らすんは、如何に變化す可き乎。難關は此に存す。吾人は單に出洋大臣の報告、立憲政體設立の上諭、官制改革の取調等を見て、既に其解決を得たりと、速斷す可らす。面倒は寧ろ此より生せんとす。

記者は韓國も不定也、滿洲も不定也、清國も不定也。極東の大局は、今尚ほ不定の情態に彷徨する也と思ふ。故に極東問題は、今日に終らすして、今後に始るものと信す。而して之を解決するの責任の、假令全く日本





國民の双肩に歸せさるも、殆んと專ら之に歸す可きは、固より吾人の切言を須たす。

若し此書にして、或は少しく我か同胞の極東經綸の思緒に觸るか如きあらは、記者の志は、聊か酬ひたりと謂ふ可し。

三十七八年役は、我も人も思ひ掛けなき大影響を、世界に來たし、且つ來たさんとしつゝあり。そは世界の黃白二大人種の間に、平等を齎らすの傾向是れ也。言ひ換ゆれは、世界の優等人種として、自負したる、白哲人種に向て、劣等人種として、侮蔑せられたる黃色人種か、其の從來隔絶したる權衡を、恢復せんとするの運動是れ也。是れ實に二十世紀に於ける、世界の大現象にして、縱令三十七八年役か其の唯一の原因たらさるも、殆んと主重なる動機たりしに相違なきものゝ如し。

從來白哲人種か、自から上天の選民たるか如き意識を有し、宛も人類中の人類は、吾等にして、他の所謂る有色人種とは、決して對等の交際を爲す可きものにあらすとの觀念は、著々事實の上に、



證明せられたりき。彼等か最近迄も、國際法適用の範圍を、基督教國、事實に於ては、白哲人種の仲間に、限りたるか如きは、其の一例にあらすとせんや。

人類同胞、四海兄弟を以て、其の信條の一としたる基督教宣教師の如きさへも、其の彼等の所謂る土人の信徒に接し、若しくは土人に接するや、決して恭謙の美德を、發揮したるものゝみと謂ふ可らす。我國に於ては、國民的精神の、頗る横溢したるか爲めに、賴ひに非人道的陋體は、比較的に、多からす、且つ著しからさりしも。清國に於ては、或る宣教師の位地は、宛も征服者の如く、其の土人を見る、物の數ともせぬ風なきにあらす。吾人は一切の宣教師に就て、斯く判斷を下たす迄、大膽ならす。且つ幾多の宣教師中には、

一般の風紙に支配せらるゝもの乎

傳道失敗の主因

人種的迷信の打破

眞に有德の君子あるを信すれども。復た上記の如き徒輩あるとは、公平なる傍觀者の、往々目擊して、竊かに憤慨したる所ろなりき。惟ふに是れ宣教師のみを、咎む可らず。如何に四海兄弟の福音の宣傳者なれはとて、宣教師も亦た人也。彼等か一般の風氣に支配せらるゝや、固より止むを得さる可し。吾人は彼等を非難せんか爲めに、如上の事例を掲けたるにあらず。唯た如何に人種的自負心の過甚なりしかを、擧證せんか爲めに、然るのみ。吾人は清國に於ける、基督教傳道の失敗を以て——或は不成功を以て——主として此の人種的不平等の迷信謬行に歸するを以つて、當然と認むるもの也。

三十七八年役は、白哲人種に向て、如何なる程度迄、此の人種的迷信を打破したる乎。吾人は其の幾分を認む、されと餘り多きを認めず。白哲人種の中には、白人以外に、幾分か敬畏す可き人種の、世界に存在するを、容認したる者あらむ。彼等か好むにせよ、好まさるにせよ。彼等にして若し事實を、正面に見るの勇氣と、誠實とあらは、是れ決して難きにあらす。然も吾人は彼等の醒覺に、多きを望むよりも、寧ろ黄人の自覺に、驚異せさるを得す。

黄人種の自覺

白人か黄人を、對等視すると否とは、暫らく之を措き。黄人か白人を對等視し、此れと同時に、對等的待遇を、彼等に向て、要望し、若しくは要望せんとするの徵候は、歴々として即今に續出する事實也。土耳其の對外硬、埃及の國民的精神の勃興、回教徒の自覺的運動、若しくは波斯、暹羅に至る迄、多少の刺戟を被らさるなし。就中

注意す可き支那人の自覺

支那全國民の平等的自覺心

注意す可きは、支那人の自覺是れ也。

支那人は、一方に於て、從來自から中國人を以て居り。他の人種を、蠻夷視したるに拘らす。所謂る其の蠻夷たる白人より、非常なる虐遇を被りても、殆んと意に介する所なきもの丶如くなりき、是れ或は自個の位地を、餘りに高く占めたるか爲めならんも、其の結果は、自から奴隷の境遇に、安著したるものと云ふを妨けす。

今や然らす、彼も人也、我も人也、の觀念は、殆んと支那全國に普及せられ、單に新問題に關して、對等の位地を占めんと欲するのみならす。從來設定したる事柄迄も、出來得る限りに於て、其の平衡を恢復せんと企てつ丶あるものに似たり。政策としての得失は、吾人か今茲に問ふ所にあらす。然も其の平等的自覺心は、決して



我か風を見て興る

大和民族の覺悟、

看過す可らさる現象とす。吾人をして露骨に白狀せしめは、其の或は一變して、攘夷的暴舉に變せんとを虞る丶也。

吾人は我か黃人に、斯る活動を、有心的に敎唆したるの責に任する能はす。されと彼等の多くは、我か風を見て興り、若しくは興らんとしつ丶あるもの也。如何に言ひ逃れんとするも、日本帝國の先例は、總ての有色人種、特に黃人種の自覺の動機たるの事實を抹殺す可らす。果して然らは、吾人は寧ろ男らしく此の一大渦中に飛ひ込み、此の大勢を利導するに若かんや。

平均を求むるは、人類にせよ、物體にせよ、宇宙經濟の大作用也。社會主義と云ひ、民權論と云ひ、同盟罷業と云ひ、若しくは憲法政治と云ひ、何れも或る部分の平均を求むるの作用に外ならす。而し

て其の平均を求むる作用中に於て、此の黄白二大人種の間の平均を恢復せんとするは、實に大の大なるものと謂はざるを得す。平均を求むるは、挑戰せんか爲めにあらす、對抗せんか爲めにあらす、眞に人類同胞、四海兄弟の實を擧けんか爲めのみ。乃ち黄人の重荷は、我が大和民族の双肩に在り。吾人豈に小成に安す可けん哉。日本國民の事業此れよりして遠し。



## 記者か滿、韓、清國旅行より歸來後の要件

韓國に於ける宮中肅清は、伊藤統監の果斷によりて、實行せられたり。此れか爲めに群小の出入を一掃したり。

滿洲に於ける軍政は、營口を除くの外、撤去せられたり。乃ち營口も、本年を限りと爲す。

馬賊は、南滿洲にも、尚ほ横行す。南滿鐵道會社は、創立せられ、其の第一回株式募集は、千倍以上の申込あり。而して清國人の申込は、殆んと見る可きもの是れあらす。

清國に於ては憲政創立、官制改革等の上諭、頻繁出て來れり。是れ出洋大臣復奏の結果也。然も其の實行は、滿漢の軋轢、京官、外官の權力競爭等にて行き惱めり。

支那は眠れり、今や醒覺し來れりとは、二十年前、晉俠紀澤の、颶霄したる所ろなりき。二十七八年役は、一大曉鐘たりき。三十三年の團匪事件は、更らに一大曉鐘たりき。而して三十七八年役も、亦更らに一大曉鐘たる可きものなりき。而して今や如何。醒覺乎、醒覺乎。其の前途は如何。吾人は醒覺の時節、到來したるを疑はず。但た到來後の形勢如何なトせんと欲するのみ。

明治三十九年十月



| 頁及行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|
| 一六頁二行 | 獵石は | 蠟石は |
| 二九頁八行 | 下馬頭は | 下馬塘（以下頭は塘に改む） |
| 三四頁一行 | 高梁は | 高粱（以下梁は粱に改む） |
| 三四頁四行 | 停軍場は | 停車場 |
| 八一頁三行 | 沮茄は | 沮加 |
| 九二頁五行 | 兵士は | 兵士 |
| 一六頁五行 | 曲拆は | 曲折 |
| 三〇頁三行 | 九月は | 七月 |
| 三四頁六行 | 藤椅子は | 籐椅子 |
| 三六頁一行 | 鐘山は | 鍾山 |
| 五八頁二行 | 點晴は | 點睛 |
| 一六二頁四行 | をとを | を字刪 |
| 一八〇頁二行 | 鐘山は | 鍾山 |
| 二三頁四行 | 永瀧領事は | 永瀧總領事 |
| 三二頁九行 | 五日は | 九日 |
| 二四頁九行 | 辨髮は | 辮髮 |
| 二四七頁六行 | 金料は | 金科 |
| 二六七頁九行 | 邦幾は | 邦畿 |

5/41

明治三十九年十月卅一日印刷
明治三十九年十一月三日發行

七十八日遊記奥付

定價金壹圓六拾錢

不許複製

著作者　東京市赤坂區青山南町六丁目三十番地　德富猪一郎

發行者　東京市京橋區日吉町四番地　渡邊爲藏

印刷者　東京市京橋區日吉町四番地　齋藤剛

印刷所　東京市京橋區日吉町四番地　民友社

發行所　東京市京橋區日吉町四番地　民友社

4

다3R6

30
497

022493-000-8

30-497

# 七十八日遊記

徳富　猪一郎（蘇峰）／著

M39

ADB-0163